

ff&L

ff&L

ff' L

## 令和4年2月定例教育委員会提出事項

### 1 教育長報告

- (1) 市立学校園における新型コロナウイルス感染症による措置状況について  
(総務課)

### 2 提出議案

議案番号	件名	所管課
4	令和4年第1回定例市議会提出予定議案（予算）の作成に対する意見について	総務課
5	令和4年度教育行政方針について	総務課
○6	県費負担教職員（管理職）人事の内申について	学校教育課

「注」○印については、当日送付

### 3 その他

- (1) 行事について (総務課)
- (2) 令和3年度第2回前橋市教育情報システム利活用推進委員会の開催結果について (総務課)
- (3) 令和3年度第3回前橋市社会教育委員会議の開催結果について (生涯学習課)
- (4) 成年年齢引き下げ後の成人祝賀行事の名称について (青少年課)
- (5) 適応指導教室の名称変更について (青少年課)
- (6) 前橋市「ヤングケアラーの実態に関するアンケート調査」事業の実施結果について (青少年課)
- (7) 第2回図書館新本館構想策定プロジェクト会議の開催結果及び図書館新本館基本構想（案）について (図書館)

# 議 事 日 程 第 1 号

前橋市教育委員会 2月定例会  
令和4年2月15日（火）  
午後2時00分開議

## 第1 会期の決定

## 第2 会議録署名委員の指名

## 第3 教育長提出の諸報告

- (1) 市立学校園における新型コロナウイルス感染症による措置状況について

## 第4 教育長提出議案の付議

- (1) 議案第4号 令和4年第1回定例市議会提出予定議案（予算）の作成に対する意見について
- (2) 議案第5号 令和4年度教育行政方針について
- (3) 議案第6号 県費負担教職員（管理職）人事の内申について

## 第5 そ の 他

- (1) 行事について
- (2) 令和3年度第2回前橋市教育情報システム利活用推進委員会の開催結果について
- (3) 令和3年度第3回前橋市社会教育委員会議の開催結果について
- (4) 成年年齢引き下げ後の成人祝賀行事の名称について
- (5) 適応指導教室の名称変更について
- (6) 前橋市「ヤングケアラーの実態に関するアンケート調査」事業の実施結果について
- (7) 第2回図書館新本館構想策定プロジェクト会議の開催結果及び図書館新本館基本構想（案）について

教育委員会議案第5号

令和4年度教育行政方針について

令和4年度教育行政方針を次のとおり決定しようとする。

令和4年2月15日提出

前橋市教育委員会

教育長 吉川 真由美

令和4年度

教育行政方針  
(案)

前橋市教育委員会

## 目 次

はじめに	.....
1 学校教育分野	.....
(1) 義務教育	
(2) 高校教育	
(3) 幼児教育	
(4) 特別支援教育	
(5) 教職員育成	
2 青少年教育分野	.....
(1) 地域健全育成	
(2) 青少年支援センター	
(3) 児童文化センター	
3 社会教育分野	.....
(1) 生涯学習（公民館・コミュニティセンター）	
(2) 図書館	
(3) 文化財	
4 教育環境整備分野	.....
(1) 教育施設整備	
(2) 学校給食	

# はじめに

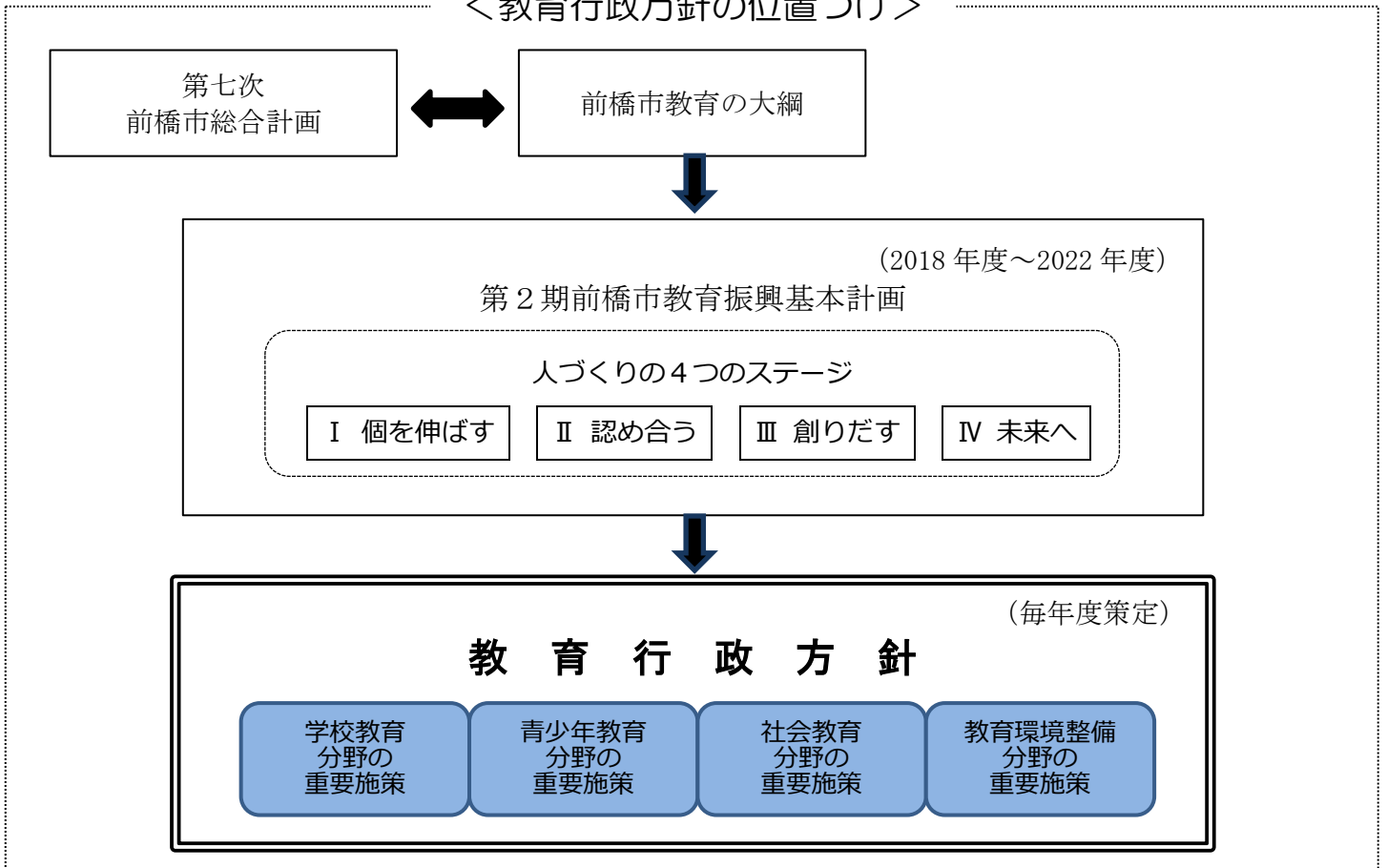
## ○教育行政方針について

本市においては、平成30年度に、教育の理念の実現に向けた計画「第2期前橋市教育振興基本計画」を策定いたしました。

この計画では、前橋の教育が目指す人間像として「多様な人と協働しながら主体的・創造的に社会を創る人」と定め、個の育ちと社会（集団）の中での育ちが相互に関わりながら高まっていくものと考えました。その実現のために、「4つのステージ（舞台・場面）」を示し、それぞれのステージ（「個を伸ばす」「認め合う」「創りだす」「未来へ」）において、目指す方向性を定めています。それらの考え方を踏まえ、行政が取り組むべき具体的な施策を定めたものが「教育行政方針」となります。

「教育行政方針」では、各分野で取り組む施策について、施策の目標及びそれに対応する重要施策を定めています。毎年度、重要施策を中心とした取組を振り返るとともに、学識経験者からの意見をいただきながら、教育委員会自らが点検・評価を実施し、「教育行政方針」の見直しを行っています。

### <教育行政方針の位置づけ>



## ○教育行政方針の構成について

教育分野を「1 学校教育分野」、「2 青少年教育分野」、「3 社会教育分野」、「4 教育環境整備分野」の4つに分け、それぞれの分野において、「各分野の説明」、「施策を進める上での目指す方向性（第2期前橋市教育振興基本計画から抜粋）」、「施策を表す図」が記載されています。それに続いて項目ごとに「施策の柱」、「施策の目標」を定めています。

## 1 学校教育分野

「県都前橋 教育のまち」の実現に向け、教育振興基本計画における目指すべき考え方を元にして、「多様な人と協働しながら、主体的・創造的に活動する子供」を育てる教育を推進します。

具体的には、義務教育及び高校教育（市立前橋高校）については、「学校教育充実指針」の2つの柱「学校力を高める学校経営」「魅力あふれる教育活動」に基づき、具体的施策を進めます。

幼児教育（市立幼稚園を含む幼児）については、「保育の充実を目指す市立幼稚園の経営」、「市全体でつながる幼児教育の推進」の2つの柱に基づいた教育活動を進めます。

また、全児童生徒にも共通する特別支援教育について、そして、教育に携わる教職員に対する研修についても具体的施策を定めました。

### <施策を進める上での目指す方向性（第2期前橋市教育振興基本計画より）>

#### 義務教育

- 個を伸ばす：自分のよさや可能性を見出し、個性や感性を伸ばすことにより、学ぶことの楽しさや意義を実感し、主体的に学ぶ子供を育てます。
- 認め合う：互いの個性を認め合うとともに、自他の考えを尊重することにより、他者と学び合える子供を育てます。
- 創りだす：学んだことや体験したことを活かして新たな価値や意味を生み出すとともに、多様な人と協働してよりよい考えや方法を見出すことを通して、意欲的に課題解決に取り組む子供を育てます。
- 未来へ：夢や希望を持ち、自分自身や社会全体の将来像を思い描くことにより、学んだことを進んで社会の中で活かそうとする子供を育てます。

#### 高校教育

- 個を伸ばす：個々の様々な可能性を引き出し、伸ばすことにより、主体的に学ぶ生徒を育てます。
- 認め合う：仲間と協力し切磋琢磨し合うことで、知力と体力の伸長を図り、人間力を備えた生徒を育てます。
- 創りだす：社会情勢の変動に主体的に対応できる柔軟な思考力や判断力、他者と協働する力を育てることにより、課題の解決に向けた意欲の高い生徒を育てます。
- 未来へ：より高い目標を持って夢を抱くことにより、将来、地域社会を支え貢献できる生徒を育てます。

#### 幼児教育

- 個を伸ばす：安定した気持ちで興味・関心を持って身近な環境と関わることにより、自分のよさを感じながら主体的に遊ぶ幼児を家庭と連携しながら育てます。
- 認め合う：身近な人と親しみ、関わりを深め、一緒に活動する楽しさを味わうことにより、人への愛情や信頼感を持つ幼児を育成します。
- 創りだす：友達と協同的な遊びを充実させることにより、新たな遊びを作り出したり生活を豊かにする工夫をしたりする幼児を育成します。
- 未来へ：小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながる幼児期にふさわしい生活を通して、人や自然と関わる楽しさや夢やあこがれなどを感じる幼児を育てます。



## 特別支援教育

- 個を伸ばす：一人一人の子供の個性や特性に応じた学びを工夫することにより、学ぶ喜びを感じる子供を保護者と連携しながら育成します。
- 認め合う：身近な人と親しみ、活動や場の共有による日常的なふれ合いを通して、人と共に生活する楽しさを感じる子供を育てます。
- 創り出す：障害のある子供とない子供が交流する仕組みを構築することを通して、様々な人が共に活動する教育を推進します。
- 未来へ：障害の有無にかかわらず、相互に人格と個性を尊重し合うことを通して、共生する社会を目指します。

## 教職員育成

- 個を伸ばす：確かな幼児・児童・生徒理解に基づき、一人一人の個性を認め、よさを伸ばせる教員を育成します。  
様々な研修や研究の機会を作り、参加型の研修を推進するとともに、学校訪問や幼児教育アドバイザーの派遣などを推進することにより、主体的に学ぶ教員を育成します。
- 認め合う：学校訪問や研修を通して、よりよい人間関係作りや社会性を育む指導ができる教員を育成します。  
教職員同士がそれぞれのよさを活かして協議したり、保幼小中連携、障害児者との交流などをしたりすることにより、様々なつながりを活かせる教員を育成します。
- 創り出す：「主体的・対話的で深い学び」の指導の工夫をし、新たな教材開発や高め合える学級作りができる教員を育成します。  
外部の専門家や様々なスタッフ、地域の人材などと協働することにより、互いのよさを活かしたチーム学校を推進します。
- 未来へ：若手職員、中堅職員の育成を行うことにより、将来の理想的な教員体制を目指します。

生きる力を育む学校教育の充実

多様な人と協働しながら、  
主体的・創造的に活動する子供

生きる喜び・学ぶ楽しさ

夢や希望をはぐくむ学校文化の創造

義務教育・高校教育

学校力を高める  
学校経営

家庭・地域と  
つながる  
学校づくり

魅力あふれる  
教育活動

保育の充実を目指す  
市立幼稚園の経営

特別支援教育及び  
教育相談機能の充実

市全体でつながる  
幼児教育の推進

教職員研修、  
実践的研究機能の充実

# I 学校教育分野 — (1) 義務教育

## 施策の柱 (1) 学校力を高める学校経営

～学校教育目標の達成に向けたチームとしての学校づくり～

学校経営の基盤となる各種管理体制や指導体制、学校間や地域・家庭との連携、学校評価等の充実を図るとともに、教職員、事務職員、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、部活動支援員などの専門スタッフや学校支援ボランティアが連携・分担し、それぞれの力を発揮できる「チーム学校」としての体制を構築します。

施策の目標	重要施策
1. 一人一人がチームの一員として参画する学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「チーム学校としての協働的な取組例」や「校務分掌における一人一人の役割の明確化」など、学校教育充実指針推進教諭が円滑に推進できるようにするための情報共有の場としての推進部会を開催する。【学校教育課】</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラム・マネジメントの充実を図るために、学校評価システムに基づいた活用上の支援や情報提供を行う。【総合教育プラザ】</li> </ul>
2. 学校間の連携と家庭・地域の教育力を生かした教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や地域住民の学校運営への参画と学校支援を一体的に実施する学校支援協議会〔前橋版コミュニティ・スクール〕の推進に向けた情報提供及び学校訪問による支援を行う。【学校教育課】</li> </ul>
3. 多様なニーズに対応する教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害のある児童生徒の自立と社会参加を目指した指導を推進するために、校内委員会による組織的な取組を進めるとともに、個別の教育支援計画等に基づいた指導・支援の充実や会計年度任用職員の効果的な活用を図る。【総合教育プラザ】</li> </ul>
4. 教職員の資質・能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画訪問や要請訪問における充実指針や教科等の努力点を踏まえた具体的な取組についての指導・助言を行う。【学校教育課】</li> </ul>
5. 安全・安心な学校づくりの徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校安全計画や学校保健計画等の見直し・改善などに関わる資料や情報の提供を行う。【学校教育課】</li> </ul>
6. 校務の効率化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GIGAスクール構想により整備された1人1台端末を最大限に活用し、従来紙で配布していた学習プリントや学校通信、学校評価アンケートについて、極力、データにて配付・回収する習慣の定着を図ることで、より一層の校務の効率化を図る。【総務課】</li> </ul>

## 施策の柱（２） 魅力あふれる教育活動

～未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む教職員一人一人の取組～  
 子供たちが「生きる喜び」や「学ぶ楽しさ」を味わえるような魅力ある教育活動を展開するとともに、前橋イングリッシュサポーターやALTを活用した小学校外国語活動・外国語科の充実、ICTの積極的な活用、キャリア教育の推進など知・徳・体のバランスの取れた教育を進め、社会的自立の基礎となる「生きる力」を育みます。

施策の目標	重要施策
1. 学び続ける力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「教育課程編成・実施の手引き」「『指導と評価の一体化』のための学習評価のポイント」に基づく授業づくりや学習評価についての助言及び指定校や教科別研究会の取組についての支援を行う。【学校教育課】</li> <li>・基礎学力の定着を把握するための学力検査の実施と指導充実・改善のための分析シート及び指導資料を作成する。【学校教育課】</li> </ul>
2. 豊かな人間性の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「考え、議論する道徳」の授業づくりについての指導・助言や研修会を実施する。【学校教育課】</li> <li>・主任会や計画訪問における実践事例の紹介及びあたたかな人間関係を築くための考え方や具体的な指導の在り方についての指導・助言を行う。【学校教育課】</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育研修、人権教育授業研修等において、同和問題等の重要課題の理解をはじめ、各校における人権教育の推進を図る。【総合教育プラザ】</li> </ul>
3. 健康増進・体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新体力テストの結果分析から本市の課題を明らかにし、課題解決に向けて協議したり、指定校や先進校の取組や授業実践を共有したりする体育主任会・研修会を開催する。【学校教育課】</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康教育に関する研修会や学校保健会事業等を通して、児童生徒の望ましい生活習慣の定着に向けた指導の充実を図るとともに、保健主事部会や養護教諭部会で、家庭と連携した取組の在り方について情報交換し、健康課題の解決に向けた計画的・組織的な体制づくりを進める。【総務課】</li> </ul>
4. 自立性・社会性の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達の段階に応じた取組を支援するまえばしキャリア教育推進協議会や各学校のキャリア教育の理解と推進を図る研修会を開催する。【学校教育課】</li> </ul>
5. 個別最適な学びと協働的な学びの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GIGAスクール構想により子供たち1人1人に配付された端末を最大限に活用し、すべての子供へ学びの保障ができるよう、端末や学習用ソフトウェアの安定運用を図っていくとともに、必要な場合には端末の再配置やアカウントの追加等、柔軟に対応していく。【総務課】</li> </ul>

## Ⅰ 学校教育分野 — (2) 高校教育

### 施策の柱 (1) 学校力を高める学校経営

校訓である「進取・自律・創造」を実践できる生徒を育成するため、教職員一丸となり、学校力の向上に取り組めます。

また、学校経営の基盤となる各分掌・学年・委員会の連携を密にして、組織力を生かした教育活動を推進するとともに、地域に根ざした学校づくりを目指します。

施策の目標	重要施策
1. 課題の解決に向けて機能する学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年や分掌において教職員相互の情報共有を徹底するとともに、各種委員会・研修を充実させることで、学校全体の組織力の向上を図る。【市立前橋高等学校】</li> </ul>
2. 教職員の資質・能力の向上を通じた指導力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の実情に合った授業を実践し、教員相互の授業見学、授業点検、校内研修等を行うとともに、校外研修等にも積極的に参加するなどして、組織的な授業改善を図り、教員の指導力向上に努める。【市立前橋高等学校】</li> </ul>
3. 生徒指導の充実と良き校風の樹立	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員全員で組織的な生徒指導を行うことで、校内外を問わず規律・節度を重んじた基本的な生活習慣を身に付けさせ、明るくたくましい生徒を育成する。【市立前橋高等学校】</li> </ul>
4. 地域とつながる学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の教育力を活用した学習活動・学校行事の推進、生徒の地域活動等への参加促進など、地域との交流を積極的に行う。【市立前橋高等学校】</li> </ul>

## 施策の柱（２） 魅力あふれる教育活動

生徒一人一人の主体的、自主的な取組を基本とし、「知・徳・体」調和のとれた教育を実践し、生徒の進路実現を支援します。また、学習と部活動のバランスのとれた学校生活を支援します。

施策の目標	重要施策
1. 特色あるカリキュラムと進路指導の充実	・地域活性化プロジェクト「めぶく」において、生徒が身近な社会の課題を探究する中で、興味ある学びを発見し、その学びを選択に生かす、進路探究型の学びを推進する。【市立前橋高等学校】
2. 部活動の指導の充実	・部活動において、生徒が自発的・主体的に活動し、充実感・自己有用感を高めることにより、学校全体の活性化につなげる。【市立前橋高等学校】

## Ⅰ 学校教育分野 — (3) 幼児教育

### 施策の柱(1) 保育の充実を目指す市立幼稚園の経営

幼児が楽しんで活動する教育の推進を目指し、豊かな感性や思考力・表現力など「生きる力」の基礎となる心情・意欲・態度を育てます。また、園と小学校、家庭との連携を深め、互いに子供の育ちを共有し、より良い環境で幼児期に必要な体験ができるようにします。

施策の目標	重要施策
1. 園経営の充実に向けた様々な体制づくり	・市立幼稚園の実践力の向上と情報の発信とに向けて、「幼児教育充実指針～めぶく～」を活用した園内研修の取組を推進し、「市立幼稚園保育研究会」の開催や「計画訪問」「園内研修訪問」を実施する。【総合教育プラザ】
2. 魅力あふれる教育活動の推進	・幼児が興味や関心に基づき、自主的・自発的な遊びを通して、直接的・具体的な体験ができるように環境の構成や援助の在り方を工夫し、特別な支援を必要とする幼児をはじめ、幼児一人一人の発達の特長や心の動きに応じた保育の充実を図る。【総合教育プラザ】

### 施策の柱(2) 市全体でつながる幼児教育の推進

幼児教育に関する「各種研修」や、福祉部との連携による「保幼小連携推進事業」により、園と小学校の連携を深め、互いに子供の育ちを共有していきます。また就学等の支援、幼児期にふさわしい生活の実現に向けた「親育ちの支援」等を通じて、幼児教育の充実と保幼小の円滑な接続を図ります。

施策の目標	重要施策
1. 保幼小連携の推進	・市内18の地区ブロック内の幼稚園・保育所(園)・認定こども園・小学校・特別支援学校が参加する研修会を開催し、学びのつながりへの理解を深められるよう、幼児教育アドバイザーを派遣する。【総合教育プラザ】
2. 就学等の支援	・電話や面接等により、就学や発達に関わる個別の相談に応じ、必要な情報提供を行うとともに年長児を中心に、一人一人に応じたきめ細かな通級指導(幼児教室)を行う。さらに特別な支援を必要とする幼児等について、園所等における適切な支援の連続性を確保するために「就学サポートシート」や「指導要録」などの引継資料の活用を推進する。【総合教育プラザ】

## I 学校教育分野 — (4) 特別支援教育

### 施策の柱 (1) 特別支援教育及び教育相談機能の充実

特別支援教育の体制整備に係る情報発信や指導・助言を行うほか、巡回相談等の実施や教育支援委員会の運営を通して特別支援教育を充実させます。

学校や教育相談機関との連携の強化や教職員の教育相談技術の向上を通して教育相談機能の充実を図ります。

施策の目標	重要施策
1. 特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育に係る情報発信や指導・助言、巡回相談による担任等への支援を行うとともに、特別支援学級介助員等の臨時職員を配置することにより、特別支援教育の充実を図る。【総合教育プラザ】</li> </ul>
2. 教育相談機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラザ相談室との連携強化と教職員の相談技術の向上をとおして、学校における教育相談機能の充実を図る。【総合教育プラザ】</li> </ul>



## I 学校教育分野 — (5) 教職員育成

### 施策の柱(1) 教職員研修、実践的研究機能の充実

教職員の授業力や経営力の向上に向けて、学校現場のニーズに応じた研修の充実に努めるとともに、実践的研究の推進により人材育成及び学校における課題の解決を支援します。

施策の目標	重要施策
1. 教職員研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の資質能力の向上のために、群馬県教員育成指標を踏まえ、児童生徒理解に基づいた確かな授業力や経営力を身に付けるための研修を推進する。【総合教育プラザ】</li> </ul>
2. 実践的研究の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前橋長期研修および前橋特別研修において、学校教育に係る諸問題を扱った事例研修等を実施し、研修員の学校経営力の向上を図る。また、学校現場と連携した実践的研究に取り組み、その成果を市内各学校に還元することで、今日的な教育課題の解決を目指す。【総合教育プラザ】</li> </ul>

## 2 青少年教育分野

目指す青少年像を「自ら進んで行動する青少年」「互いのよさを認め合う青少年」「地域をよりよくしようとする青少年」「地域を誇りに思う青少年」とし、家庭・地域、学校の連携のもと前橋市青少年健全育成計画「いきいき前橋っ子 はぐくみプラン」の活用により、人間性豊かな青少年を育成します。また、地域とともに青少年を育成する地域健全育成活動、いじめ・不登校などへの対応を行う学校の生徒指導支援、学びと遊びの交流拠点としての児童文化センター運営の各分野において進める具体的施策を定めます。

### <施策を進める上での目指す方向性（第2期前橋市教育振興基本計画より）>

#### 地域健全育成

- 個を伸ばす：「子供をお客さんにしない」を合言葉として、自ら考え進んで活動する主体的な青少年を育成します。
- 認め合う：地域の様々な活動の中で、異世代、異年齢の人や様々な思いの人と交流し認め合うことを通して、豊かな人間性を持つ青少年を育成します。
- 創りだす：普段の生活で関わる機会のない地域の様々な人たちと関わりを持ち、役立つ場を作ることにより、地域をよりよくしようと考え、行動する青少年を育成します。
- 未来へ：地域の中で主体的に活動することを通して、生まれ育った地域を誇りに思える青少年を育成します。

#### 青少年支援センター

- 個を伸ばす：自分の生活や行動を振り返る活動を通して、自分のよさに気づき、向上心を持って活動に取り組める子供を育成します。
- 認め合う：子供同士の絆づくりを通して、他者のよさに気づき、認め合いながら活動に取り組める子供を育成します。
- 創りだす：いじめ防止に向けた話し合い活動や小中学校の交流活動を通して、それぞれの考え方を認め合いながら、よりよい解決策を考え、共に活動に取り組める子供を育成します。
- 未来へ：これからのネット社会においても、様々な立場の大人がスクラムを組み、子供たちの知識・経験・成長に合ったインターネットを利用する環境を整えていく活動を通して、メディアを主体的かつ適切に活用できる子供を育成します。

#### 児童文化センター

- 個を伸ばす：子供たちが自ら考え、工夫し、表現する活動を重視した「学び」と「遊び」の活動を展開することにより、「主体的な学び」の実現を図ります。
- 認め合う：地域も学校も年齢も異なる子供たちの中で様々な活動を行うことにより、共に学ぶよさを感じ、互いに思いやることの大切さ、公共の場での心構えなどの社会性を育みます。
- 創りだす：様々な知識や技能、思いを持った人々と交流し、より専門性の高い活動に主体的に取り組むことを通して、個性や能力、創造性のさらなる伸長と、人と高め合う力を育成します。
- 未来へ：前橋市内の各学校・園と連携を図りながら、前橋の自然環境を守ったり、地域の文化を大切にしたりする活動を通して、持続可能な社会の実現に向けた意欲と実践力を兼ね備えた子供を育成します。

## 人間性豊かな青少年の育成

自ら進んで行動する青少年  
互いのよさを認め合う青少年  
地域をよりよくしようとする青少年  
地域を誇りに思う青少年

### 青少年支援センター

学校の健全育成活動  
子供をめぐる問題解決  
への支援の充実

### 地域健全育成

地域健全育成活動の充実  
国際理解教育活動の充実

## 青少年課

### 児童文化センター

交通安全・天文・環境教育の充実  
自然体験活動の充実  
科学・文化芸術活動の充実  
遊びの充実と多世代交流の推進

学校

家庭  
地域

## 2 青少年教育分野 — (1) 地域健全育成

### 施策の柱(1) 地域健全育成活動の充実

家庭や地域が取り組む子供が主体となった活動を支援するとともに、放課後の子供の居場所の充実を図ります。

施策の目標	重要施策
1. 地域の人たちによる体験・交流活動を通じた地域健全育成活動の充実	・関わり方などを「いきいき前橋っ子 はぐくみプラン」等を活用して家庭や地域の人たちに周知・啓発するとともに、関係団体の支援等を通じて、子供の主体性を育てる健全育成活動を推進する。【青少年課】
2. 放課後の子供の居場所の充実	・地域の人などの協力により、放課後の小学校において、子供の安全安心かつ健全な成長につながる遊び場を提供する。【青少年課】

### 施策の柱(2) 国際理解教育活動の充実

国際交流活動を通じて、主体的に行動し、多様な文化を理解する青少年を育成します。

施策の目標	重要施策
1. 国際理解教育活動の充実	・コロナ禍の長期化やG I G Aスクール構想の進展がある中、多様な文化への理解や関心を高めるため、オンライン等新たな形での国際交流を検討・推進する。【青少年課】

## 2 青少年教育分野 — (2) 青少年支援センター

### 施策の柱 (1) 学校の健全育成活動と、子供をめぐる問題解決への支援の充実

学校と連携し、ケータイ・インターネットが急速に普及した高度情報社会において正しく判断し主体的に行動する力を育てる健全育成活動と、問題行動・不登校などの子供をめぐる様々な問題の未然防止や解決・改善を支援します。

また、相談体制や支援体制の充実を図り、各学校のいじめの未然防止及び早期発見・解消を支援します。

さらに、中学校卒業後もひきこもり傾向にある卒業生に対し、関係各課と連携した支援を進めます。

施策の目標	重要施策
1. 学校支援体制の充実と問題行動の防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導上の諸問題の解決に向けて、学校と協働して対応する。また、関係機関との連携体制や専門家による相談体制を整備し、問題行動の未然防止と解決に向けた支援を行う。【青少年課】</li> </ul>
2. 子供の被害防止活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>不審者による被害防止とネットトラブルの未然防止、および虐待の早期発見に向けて、講座や体験教室等による啓発活動を推進するとともに、関係機関と連携して効果的な対策を講じる。【青少年課】</li> </ul>
3. 不登校対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>スクールアシスタントの配置、オープンドアサポーターによる訪問、教育支援教室の設置等により、社会的自立に向けて個別学習支援や学校復帰への生活支援を展開し、不登校対策の充実を図る。【青少年課】</li> </ul>
4. いじめ対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめの未然防止と早期発見及び迅速で適切な対応に向けて、教育相談体制の整備や教職員研修の充実、外部人材を活用した解決支援、児童生徒主体のいじめ防止活動等を実施する。また、教職員がいじめ防止に組織的に取り組む体制や、学校と家庭、地域が連携・協働する体制を構築する。【青少年課】</li> </ul>

## 2 青少年教育分野 — (3) 児童文化センター

### 施策の柱(1) 交通安全・天文・環境教育の充実

児童文化センターの施設等を活用した体験的・実践的な交通安全・天文・環境教室を実施することにより、学校教育の充実を図ります。

施策の目標	重要施策
1. 交通安全教室の充実	・全小学校4・6年生及び希望する中学校・特別支援学校を対象に安全な自転車の乗り方の教室や、幼稚園・保育所(園)・特別支援学校等を対象に安全な歩行の仕方の教室を実施することにより、交通事故を防止しようとする態度や実践力を育てる。【青少年課】
2. 天文教室の充実	・プラネタリウムを活用した天文教室や実際に天体を観察する移動天文教室を実施することにより、子供たちの宇宙や天体への理解を深めるとともに、興味・関心を高める。【青少年課】
3. 環境教室の充実	・全小学校5年生を対象に児童文化センターの自然や施設を活用した体験的な環境教室を実施することにより、学校における環境教育の充実を図る。【青少年課】

### 施策の柱(2) 自然体験活動の充実

学校や林間学校における自然体験活動を充実させることにより、生命・自然を尊重し、持続可能な社会を実現しようとする意欲と態度を育てます。

施策の目標	重要施策
1. 自然体験活動の推進	・効果的な活動例の提示や相談、教員への研修、自然体験学習講師の派遣や人材の紹介などを行うことにより、児童生徒が主体的に取り組む自然体験活動の充実を支援する。【青少年課】

## 施策の柱（3） 科学・文化芸術教育活動の充実

科学・文化芸術に関する様々なクラブ・教室を実施することにより、個性や能力を伸ばし、心豊かな子供の育成を目指します。

施策の目標	重要施策
1. クラブ活動の充実	・科学・文化芸術に関する様々なクラブ（発明、環境冒険隊、宇宙、合唱団、ジュニアオーケストラ、演劇）を実施することにより、多くの人と関わりながら個性や能力を伸ばし、自己肯定感や生きる意欲を高める。【青少年課】
2. 多様な科学・文化芸術に関する教室の充実	・科学・文化芸術に関する教室(夏季教室、わくわく教室等)を実施することにより、多様な体験活動を推進し、子供たちの興味・関心を広げるとともに、様々なことに主体的に取り組もうとする意欲を育てる。【青少年課】
3. プラネタリウム番組の制作と投影	・自主制作のプラネタリウム番組と生解説を組み合わせ、来館者の実態や季節、天文現象に即した投影方法や解説を工夫することにより、市民の天文への理解と興味・関心を高める。【青少年課】
4. 施設・設備を活用した企画イベントの充実	・市民天文教室やプラネタリウムコンサートなどのイベント内容や実施方法を工夫することにより、多くの市民が宇宙や天文現象に親しむ機会を提供する。【青少年課】

## 施策の柱（4） 「学び」と「遊び」の充実と多世代交流の推進

子供たちがボランティアや学生、職員など様々な人と関わりながら学んだり遊んだりする事業を実施することにより、体験活動を通して主体的に学ぶ力や人と関わる力を育てます。

施策の目標	重要施策
1. 各種イベントや体験的な事業の推進	・「わくわくチャレンジコーナー」や「冒険遊び場」などにおける子供たちの「学び」や「遊び」の子供主体の体験活動を充実させることにより、個性や能力、創造性の伸長を図る。【青少年課】
2. 交通安全に関わる体験の充実	・足踏みカートや交通信号、横断歩道、ゴーカート等での体験を通して、交通ルールや公共の場でのマナー等の社会性を身に付ける機会を提供する。【青少年課】
3. 市民力の活用と多世代の交流	・様々なイベントや教室等において、ボランティア・青少年ボランティアなど多世代の人と交流する体験を通して、子供たちの人と関わる力や豊かな人間性を育む。【青少年課】

### 3 社会教育分野

社会教育については、生涯学習、図書館、文化財のそれぞれの分野において、以下のよう  
な目指す方向性をもって取組を進めます。

#### <施策を進める上での目指す方向性（第2期前橋市教育振興基本計画より）>

##### 生涯学習（公民館・コミュニティセンター）

- 個を伸ばす：地域課題や市民ニーズに対応した多様で魅力ある「学びの場」の提供により、「主体的な学び」の実現を図ります。
- 認め合う：お互いの人権や個性を尊重しながら、支え合う心豊かなコミュニティを形成する仕組みを通して、家庭や地域の様々な人との関わりの中で社会性を高める支援をします。
- 創りだす：個の学びやその学習成果の活用を基に、地域の多様な主体が連携・協働し、交流することを通して、生涯活躍できる力を地域とともに育みます。
- 未来へ：ふるさとを愛し未来を拓く人材を地域で育み、それぞれの個性や特技を活かし融合させることにより、新たな価値を創りだす地域の担い手づくりを支援します。

##### 図書館

- 個を伸ばす：個人の興味、関心を満たすための、あらゆる資料や情報の提供を積極的に進めることにより、市民一人一人の知的欲求に応えます。
- 認め合う：赤ちゃんからお年寄りまで、あらゆる市民が利用し交流できる環境を整えることにより、認め合い、学び合う活動の場を提供します。
- 創りだす：学びの成果を共有できる場を提供することで、ボランティアや地域の活動などに主体的に取り組む人材を育成します。
- 未来へ：郷土資料などの活用を促進し、郷土を愛する心を育むことにより、次世代につなげるための文化活動を推進します。

##### 文化財

- 個を伸ばす：専門職員を確保し、市民に文化財に関する知識・能力を習得する場を提供することにより、市民の主体的な学びの実現を図ります。  
日常的に文化財や、伝統文化に親しむことができる環境を整えることにより、興味や関心を持たせ、探究心、想像力を高め、個の伸長を図ります。
- 認め合う：文化遺産や伝統文化を地域の中で世代を超えて継承するための環境を整えることにより、文化財を通じた人々のつながりを深めます。
- 創りだす：市民が習得した知識等を地域に還元する体制を整えることにより、ボランティアなどで活躍できる生きがいを高めます。  
地域の文化財・伝統文化・行事・芸能などを継承していくことの意義を学ぶことにより、皆で支え合う環境づくりを図ります。
- 未来へ：地域に愛着を持てるような事業や新たな文化の創造などへの取組を進めることにより、地域を愛し未来を見つめる人づくりを進めます。



## 生涯学習課

### 地域づくりに生かす 社会教育の推進

- ・「主体的な学び」の実現につながる学習機会の提供
- ・ 公民館・コミュニティセンターの充実
- ・ 地域で活躍する人材の育成と活用

## 心豊かな 前橋の文化の創造

## 図書館

### 知的活動を支援する 図書館の充実

- ・暮らしを支えるサービスの充実
- ・文化事業の推進
- ・子ども読書活動の推進
- ・図書館運営への市民参加の促進

## 文化財保護課

### 未来へ繋ぐ文化財の 保護と活用

- ・文化財等に親しみ、郷土への愛着の心の未来への継承
- ・未来へ繋げる人づくり、学びの場の構築と文化財の普及啓発
- ・郷土の魅力の発見と新たな創出
- ・市民ボランティアとの連携、円滑な協力体制づくり
- ・郷土の伝統文化・伝統芸能の継承

### 3 社会教育分野 — (1) 生涯学習

#### 施策の柱(1) 「主体的な学び」の実現につながる学習機会の提供

地域課題や市民ニーズに対応した多様で魅力ある学びの場の提供により、市民一人一人の個性を伸ばし高められる「主体的な学び」の実現を図ります。

施策の目標	重要施策
1. 子育て・親子支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てに関する基礎的な知識や技術に関する学習、親子のふれあい、参加者の交流、リフレッシュの場を提供する。【生涯学習課】</li> <li>・地域全体で子育てを支援する意識を高めるため、各種団体や地域住民を対象に「子育て支援・理解」の講座を開催する。【生涯学習課】</li> </ul>
2. 青少年体験・チャレンジ活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさとのよさに気づき、ふるさを愛する心の育みにつながる「自然」「歴史」「文化」「食」等をテーマとした子どもが主体的に取り組める体験プログラムを実施する。【生涯学習課】</li> </ul>
3. 生涯学習奨励員活動支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習奨励員の研修や実践研究会等を開催して、社会教育への見識を深め、奨励員活動の充実を図る。【生涯学習課】</li> </ul>
4. 自主学習グループ活動支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習グループの活動支援（会員増・活動の活性化）や立ち上げにつながる講座を開催する。【生涯学習課】</li> </ul>
5. 学び合い、人権、地域ふれあいの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;学び合い&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康、食育、環境、安全安心など、地域課題やニーズを捉えた講座を開催する。【生涯学習課】</li> </ul> </li> <li>&lt;人権&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>・部落差別をはじめとした多様な人権問題の解消を促進するための啓発や人権教育講座の開催等を実施する。【生涯学習課】</li> </ul> </li> <li>&lt;地域ふれあい&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史・文化・産業・伝統伝承等の地域特性を活かした事業や講座を開催する。【生涯学習課】</li> </ul> </li> </ul>

## 施策の柱（２） 公民館・コミュニティセンターの充実

公民館やコミュニティセンターが「社会教育の拠点」として、個の学びの成果を社会へ還元できる仕組みづくりを行います。また多様な主体が連携・協働し、地域と交流することを通して、市民の生涯活躍できる力を育むとともに、ダイバーシティを推進していきます。

※ダイバーシティとは、多様な人材を積極的に活用・育成しようという考え方

施策の目標	重要施策
1. 公民館における社会教育事業の充実	・地域課題や住民ニーズを捉えて、ウィズコロナを考慮しながら、地域団体・教育機関・企業等との連携・協働により多様性のある事業を行う。【生涯学習課】
2. コミュニティセンターにおける社会教育事業の充実	・地域課題や住民ニーズを捉えて、ウィズコロナを考慮しながら、地域団体・指定管理者・地域担当専門員等との連携・協働により多様性のある事業を行う。【生涯学習課】
3. 職員研修の充実	・公民館及びコミュニティセンターの職員を対象とした各種研修を実施して、職員の意識や資質の向上を図る。【生涯学習課】

## 施策の柱（３） 地域で活躍する人材の育成と活用

ふるさとを愛し未来を拓く人材を地域で育み、それぞれの個性や特技を活かし融合させることにより、新たな価値を創り出す「地域で活躍する人材」づくりをともに育みます。

施策の目標	重要施策
1. 学びの成果の地域還元	・学びを通して自己実現と社会参画への意欲の喚起を促し、学習成果を地域へ還元できる機会を提供する。【生涯学習課】
2. 地域の人材育成と活用	・市民や各種団体が公民館事業の企画・運営に携わる機会を増やし、自己有用感を高め主体的な地域活動への参加を推進する。【生涯学習課】
3. 青少年の育成推進	・高校生に自主的な学びの場を提供するとともに、各種事業や高校生等の交流により自己成長を促して、次世代を担う地域人材を育成する。【生涯学習課】

### 3 社会教育分野 — (2) 図書館

#### 施策の柱(1) 知的活動を支援する図書館の充実

市民の多様な学習要望に応えるため、時代のニーズに沿いながら高度情報化社会に対応した環境を整備し、文化と暮らしを支える図書館の充実に努めます。また、郷土資料の利活用を推進するなど、市民共通の財産である郷土の歴史・文化などの情報を発信し、未来に伝えます。さらに、子供が主体的に本に親しむことができるための読書活動を推進します。

施策の目標	重要施策
1. 暮らしを支えるサービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の学習要望や知的好奇心に応えるために、幅広い資料を的確に収集、保存するとともに、レファレンス機能の充実に努める。また、高齢者施設をはじめとした各種団体への団体貸出を通じた読書普及や学習支援を行う。【図書館】</li> <li>・利用者の利便性向上のため、本館、分館を結ぶ物流ネットワーク機能を充実させる。【図書館】</li> </ul>
2. 文化事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土資料や収蔵美術品を中心とした展示や、講演会などの文化事業等を実施し、郷土を思う心を育む。【図書館】</li> </ul>
3. 子ども読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「前橋市子ども読書活動推進計画(第三次)」に基づき、絵本に親しむきっかけづくりとしてのブックスタート事業、幼稚園等への絵本セット団体貸出事業、市内小学1年生への図書館利用登録促進事業等、子供が主体的に本に親しめる取組を市民と共に推進する。【図書館】</li> </ul>
4. 図書館運営への市民参加の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせグループ連絡協議会など市民ボランティアへの支援を継続するとともに、読書活動普及事業での連携を通して、多様な世代の市民との協働による開かれた図書館づくりを推進する。【図書館】</li> </ul>

### 3 社会教育分野 — (3) 文化財

#### 施策の柱(1) 文化財等の保護と活用

史跡等を市民全体の宝として後世に伝えていくため、保存活用計画の策定を進め、整備について検討を開始するほか、各種文化財の修復事業等を補助します。

また、総社古墳群の範囲内容確認調査や市内蚕糸業に係る建造物等調査、上野国府解明に向けた発掘調査などを行い、新たな前橋の魅力発見に努めます。

そして、市民の文化財への愛着と保護の精神を育むため、市民ボランティアの育成と活用を進めます。

さらには、日本の伝統文化・伝統技術などに触れる機会を設けて、郷土芸能の情報発信を行うとともに、文化財施設の充実を図ります。

施策の目標	重要施策
1. 文化財等に親しみ、郷土への愛着の心の未来への継承	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財を地域社会全体で守り、活用しつつ未来へ継承するため各種文化財の調査、適切な保護と管理、環境整備を進めることで、市民の歴史学習や来訪者の歴史観光などの利便性を向上させるなど、利活用の促進を図る。【文化財保護課】</li> </ul>
2. 未来へ繋げる人づくり、学びの場の構築と文化財の普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関・団体等と連携を図りながら、資料館などの文化財関連施設の役割や機能に応じた維持管理・施設整備を行うとともに文化財展や文化財講座などを実施し、普及啓発を図る。【文化財保護課】</li> </ul>
3. 郷土の魅力の発見と新たな創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総社古墳群、上野国府、市内蚕糸業に係る建造物など、各種の文化財の調査研究を、活用を見据えながら進めるとともに新たな前橋の魅力発見につなげる。【文化財保護課】</li> </ul>
4. 市民ボランティアとの連携、円滑な協力体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財の市民解説ボランティア等の育成を支援するため、史跡見学会や講座開設、自主活動への協力などを行い、ボランティア団体相互の情報交換や調整機能の整備を進める。【文化財保護課】</li> </ul>
5. 郷土の伝統文化・伝統芸能の継承	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土芸能関係団体の活動を支援するとともに映像記録のWebページ公開の充実や学校・各種団体への積極的な紹介・貸出しを行うなど、学校や市民力を活用した連携を進めて伝統文化の継承を図る。【文化財保護課】</li> </ul>

## 4 教育環境整備分野

教育環境整備として、環境に配慮した高機能・多機能な施設づくりとともに、安全で安心、健康的で快適な施設づくりを目指します。また、防災の拠点として、安全性の確保や防災機能の強化を図り、災害に強い施設整備を進めます。

学校給食分野についても、栄養バランスの取れたおいしい給食献立を作成するとともに、安全で安心な給食を子供たちに提供します。加えて、地産地消の取組を進め、郷土食を取り入れたメニューの開発などを行いながら、給食を通じた郷土の理解や食育に力を入れていきます。

### <施策を進める上での目指す方向性（第2期前橋市教育振興基本計画より）>

#### 教育施設整備

- 個を伸ばす：教育施設の整備に当たっては、所在する地域の歴史・文化・伝統などの特色を活かした整備を目指します。
- 認め合う：子供たちが交流しやすく、学校と家庭や地域とが連携しやすい教育施設の整備を推進することにより、地域とつながる教育環境づくりを目指します。
- 創りだす：「教育のまち」を支える施設環境の改善・充実を図ることにより、子供たちが安全かつ快適に過ごすことのできる教育環境の構築を目指します。
- 未来へ：「前橋市教育施設長寿命化計画」に基づき、対処療法的な維持管理から予防保全的な維持管理へと転換を図ることにより、施設整備にかかるコストの抑制を目指します。  
学校施設への防災関連設備の整備を行うことにより、地域の防災拠点でもある学校施設の防災機能を強化します。

#### 学校給食

- 個を伸ばす：多様な食材を取り入れた学校給食を通じて、子供たちが様々な食材や調理と出会う環境づくりを推進します。
- 認め合う：食物アレルギーや体質などを正しく理解し、同じ献立が食べられない仲間のことを分かり合える子供を育てます。
- 創りだす：子供たちや保護者、関係者の声を聞きながら、献立の研究や調理の工夫を行うことにより、学校給食がさらに美味しく、給食の時間が楽しくなるような、新しいメニューを創出します。
- 未来へ：地元の新鮮で安全な食材を積極的に使うとともに、郷土食の提供を行うことにより、子供たちがより身近に地域の自然、食文化について理解し、生産者や料理を作ってくれる人への感謝の気持ちが持てるよう、学校給食を要とした食育の充実を図ります。

「学び」「創造」「交流」の場としての教育環境づくり

## 教育施設の整備

- ・地域活動の拠点としての施設づくり
- ・環境に配慮した高機能・多機能な施設づくり
- ・安全で安心、健康的で快適な施設づくり
- ・防災の拠点として災害に強い施設づくり

学校教育施設の整備  
校舎等の整備・管理

青少年教育施設の整備  
体験学習施設の整備・管理

社会教育施設等の整備  
公民館・図書館等生涯学習  
施設の整備・管理

文化財施設の整備  
史跡・資料館等の整備・  
管理

## 学校給食の実施

学校給食を要とした  
食育の充実

安全・安心でおいしい  
学校給食の安定供給

共同調理場の  
運営方法の適正化

## 4 教育環境整備分野 — (1) 教育施設整備

### 施策の柱 (1) 教育施設の整備

安全性の確保や環境への配慮など、生涯にわたる「学び」「創造」「交流」の場としてふさわしい施設づくりを推進します。

また、「前橋市教育施設長寿命化計画」に基づき、長寿命化を図るための計画的な更新・改修を行います。

施策の目標	重要施策
1. 学校教育施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎等学校教育施設の整備 児童生徒が安全かつ快適に過ごせるよう、空調整備、トイレ洋式化、バリアフリー化、外壁落下防止等により教育環境の充実と防災機能の強化を進める。また、大規模改造等による計画的な機能の更新と定期的な点検により現有施設の長寿命化を図る。【教育施設課】</li> <li>・学校給食共同調理場の整備・改善 児童生徒へ安全・安心でおいしい学校給食の提供を続けるため、学校給食衛生管理基準に基づき、市内6共同調理場の老朽化した施設及び設備の計画的な整備・改善を進める。【総務課】</li> </ul>
2. 青少年教育施設の管理と整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市有施設の管理及び活用推進 青少年教育施設の指定管理者と連携して施設の活用推進を図る。【青少年課】</li> <li>・児童文化センターの管理及び活用推進 前橋こども公園と一体化した児童文化センターの施設の維持管理を行うとともに、子供たちの活動交流拠点として施設の環境を整え、活用の推進を図る。【青少年課】</li> </ul>
3. 社会教育施設等の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が安心して快適に利用できるよう公民館、コミュニティセンターの適正な維持管理と計画的な改修を行う。【生涯学習課】</li> <li>・図書館新本館の基本構想を基本計画・基本設計に反映させるよう図るとともに、老朽化した現本館について、将来を見据えた整備の検討を行う。【図書館】</li> </ul>
4. 文化財施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財施設の適切な維持管理に努めるとともに、拠点的な展示・収蔵施設の整備についても調査・検討を行う。【文化財保護課】</li> </ul>



## 4 教育環境整備分野 — (2) 学校給食

### 施策の柱 (1) 子供たちの健やかな成長を育む学校給食の充実

子供たちの健やかな成長の要（かなめ）となる学校給食を通じて、学校における食育に取り組むとともに、安全・安心でおいしい学校給食を安定的に供給する。

施策の目標	重要施策
1. 学校給食を要とした食育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食時の訪問指導や教科等の授業における専門性を生かした指導が充実するよう、学校と学校栄養職員等との連携に対する支援を行う。【学校教育課】</li> <li>・身近な地元食材を通じて、「生産」から「消費」までの関わりを学び、地域等への理解を深め、郷土への愛着心や生産者等への感謝の気持ちを育むため、学校給食における地産地消の取組を推進する。【総務課】</li> </ul>
2. 安全・安心でおいしい学校給食の安定供給	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異物混入や食中毒の発生防止等に努め、献立の研究や調理の工夫をし、美味しく栄養バランスのとれた給食を提供する。【総務課】</li> </ul>
3. 共同調理場の運営方法の適正化（民間委託）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的で効率的な共同調理場運営を図り、民間委託に取り組む。【総務課】</li> </ul>

教育委員会3月行事予定表

日	曜	行 事 名	時 間	場 所	担 当 課
1	火	前橋高等学校卒業式		前橋高等学校	前橋高等学校
2	水				
3	木				
4	金	第56回前橋市民展覧会(写真部門) 1日目	10:00～17:30	昌賢学園まえばしホール	生涯学習課
5	土	親子自転車乗り練習会①	9:00～11:00	児童文化センター	青少年課
		第56回前橋市民展覧会(写真部門) 2日目	10:00～17:30	昌賢学園まえばしホール	生涯学習課
6	日	第56回前橋市民展覧会(写真部門) 3日目	10:00～17:30	昌賢学園まえばしホール	生涯学習課
7	月				
8	火	後期選抜試験		前橋高等学校	前橋高等学校
9	水	後期選抜試験		前橋高等学校	前橋高等学校
10	木				
11	金	中学校・特別支援学校卒業式		各学校	学校教育課
		第56回前橋市民展覧会(書道部門) 1日目	10:00～17:30	昌賢学園まえばしホール	生涯学習課
12	土	親子自転車乗り練習会②	9:00～11:00	児童文化センター	青少年課
		第56回前橋市民展覧会(書道部門) 2日目	10:00～17:30	昌賢学園まえばしホール	生涯学習課
13	日	文化財探訪	9:30～12:30	大胡地区	文化財保護課
		第56回前橋市民展覧会(書道部門) 3日目	10:00～17:30	昌賢学園まえばしホール	生涯学習課
14	月				
15	火	<b>教育委員会3月定例会</b>	<b>14:00～15:00</b>	<b>前橋市役所11階北会議室</b>	<b>総務課</b>
16	水	後期選抜合格者発表		前橋高等学校	前橋高等学校
17	木				
18	金				
19	土	親子自転車乗り練習会③	9:00～11:00	児童文化センター	青少年課
20	日				
21	月				
22	火	市立幼稚園修了式(卒園式)		各幼稚園	総合教育プラザ
23	水	市立幼稚園終業式		各幼稚園	総合教育プラザ
		市立前橋高等学校終業式		前橋高等学校	前橋高等学校
24	木	市立小学校卒業式		各学校	学校教育課
		〇〇袋ー新たな本との出会いー(貸出開始)		こども図書館	図書館
		後期選抜追検査		群馬県総合教育センター	前橋高等学校
25	金	市立小・中・特別支援学校修了式		各学校	学校教育課
26	土				
27	日				
28	月	後期選抜追検査合格発表		前橋高等学校	前橋高等学校
29	火				
30	水				
31	木	共催企画「春のこどもフェスティバル おはなし会&ワークショップでオリジナル怪獣をつくろう！」		中央公民館ホール	図書館・中央公民館(生涯学習課)

※行事については、群馬県「社会経済活動再開に向けたガイドライン(改訂版)」の警戒度に基づく段階に応じて、中止する場合があります。

## 教育委員会4月行事予定表

日	曜	行 事 名	時 間	場 所	担当課
1	金				
2	土				
3	日				
4	月	学校施設利用開放管理者委嘱式	10:00～11:00	総合教育プラザ	学校教育課
5	火				
6	水				
7	木	市立幼稚園始業式		各幼稚園	総合教育プラザ
		市立小・中・特別支援学校始業式・入学式		各学校	学校教育課
8	金	市立幼稚園入園式		各幼稚園	総合教育プラザ
		市立前橋高等学校始業式・入学式		前橋高等学校	前橋高等学校
9	土				
10	日				
11	月				
12	火				
13	水				
14	木				
15	金	教育委員会4月定例会	14:00～15:00	前橋市役所11階北会議室	総務課
16	土				
17	日				
18	月				
19	火				
20	水				
21	木				
22	金				
23	土	前橋市郷土芸能連絡協議会総会	14:00～15:00	桂萱市民サービスセンターホール	文化財保護課
24	日				
25	月				
26	火				
27	水				
28	木				
29	金	昭和の日			
30	土				

※行事については、群馬県「社会経済活動再開に向けたガイドライン(改訂版)」の警戒度に基づく段階に応じて、中止する場合があります。

令和3年度第2回前橋市教育情報システム利活用推進委員会の開催結果について

総務課

日 時	令和4年1月13日（木） 午前10時00分から12時00分まで
場 所	前橋市役所 11階 南会議室
出 席 者	<p>○推進委員会委員 10人 吉川真由美教育長、藤井一幸教育次長、都所幸直指導担当次長、片貝伸生総務課長、相原吉次学校教育課長、岡田寿史情報政策課長、金井英男小学校長会長、庭山まゆみ中学校長会長、齊藤裕徳教頭会長、浅尾高行群馬大学副学長兼数理データ科学教育研究センター長（外部専門家）</p> <p>○オブザーバー参加 6人 阿久澤正彦青少年課長、高橋之彦市立前橋高校事務長、金井幸光総合教育プラザ館長、高橋志保教育研修センター所長、田村裕之指導係長、大塚範之教育情報ネットワーク担当係長</p> <p>○事務局 4人 黛正人情報教育推進室長兼指導主事、竹内三保副主幹、上ノ内栄副主幹兼指導主事、清水亮介主任</p>
議 題	<p>①前橋市教育情報システム利活用推進委員会体制等の一部変更について</p> <p>②教職員・児童生徒・保護者向けアンケートの実施について</p> <p>③学習者用端末の年次更新スケジュール等について</p> <p>④各部会の今後の検討・取組内容について</p>
結果概要	<p>吉川教育長挨拶の後、事務局から各部会（ICT基盤整備、校務支援、授業支援）の取組状況について報告した。</p> <p>次に、検討事項として4つの議題を1件ずつ検討した。</p> <p>①前橋市教育情報システム利活用推進委員会体制の一部変更について 端末活用に係る生徒指導上の課題が明確になってきたことから、青少年課長をICT基盤整備部会の担当委員として正式に位置付けることとした。</p> <p>②教職員・児童生徒・保護者向けアンケートの実施について 夏季休業中にGoogleフォームを利用して実施したものと同様のアンケートを2月に実施し、取組の進捗確認や今後の方針決定に生かすこととした。</p> <p>③学習者用端末の年次更新スケジュール等について 卒業生の端末回収スケジュールや方法等について検討し、小学6年生は3月11日まで、中学3年生は2月25日までに回収することとした。</p> <p>④各部会の今後の検討・取組内容について LTE通信量が多い児童生徒への対応を強化することや、令和4年度の学校支援体制としてGIGAスクール運営支援センターを設置することとした。</p> <p>最後に、各委員から検討内容や現在の活用状況を踏まえた意見交換を行った。</p>
主な意見等	<p>○浅尾副学長より この1年間、教職員・児童生徒・保護者の意識が変わってきたことによって、前橋市の学校教育でのICT活用が非常に進んだのではないかと思う。アンケートのデータを生かした取組も効果的に実施できている。今後はさらに、アンケートに回答しなかったような活用に消極的な層にも働きかけていく取組が有効であると思う。今後、取り組むべき方向性がより明らかになってきたと感じている。</p> <p>○金井小学校長会長より 市からの配布物の多くが電子化されたのは非常にありがたく感じている。児童による様々な活用がかなり進んでいるので継続していきたい。教職員もICTを効果的に活用した研修を進めている。授業の記録では音声を高音質で残すことが重要と分かってきたので、そういった点を改善しつつ、さらに取組を進めたい。</p> <p>○庭山中学校校長より 昨年度の同時期には不安が大きかったが、今では活用が進み、こんなに便利だったのかと本当に感謝している。子供達を見ていると私たちをはるかに超えたクリエイティブな使い方をしていて本当にすごいなと思っている。</p>

令和3年度 第3回前橋市社会教育委員会議の開催結果について

生涯学習課

日 時	令和3年12月23日（木）午前10時 ～ 正午
場 所	前橋市中央公民館 506 学習室
出席者	<p>（出席委員：12名） 佐藤議長、清水副議長、大森委員、小川委員、荻原委員 関委員、森谷委員、村井委員、奈良委員、山田委員</p> <p>（欠席委員：2名） 土田委員、宮内委員</p> <p>（事務局：7人） 吉川教育長、藤井教育次長、都所指導担当次長、他4名</p>
議 題	<p>（1）今後の取組について</p> <p>（2）社会教育関係団体に対する補助金について（意見聴取）</p>
結果概要	<p>（1）今後の取組について 子どもたちの現状について、全国学力・学習状況調査の分析及び、のびゆくこどもの集いの参加状況と高校生学習室の現状と若者の取組について事務局より説明を行い、その後今後の取組むべき方向性について協議を行った。</p> <p>（2）社会教育関係団体に対する補助金について（意見聴取） 令和4年度社会教育関係団体に対する補助金について事務局から概要を説明後、意見聴取を行い、異議なしとされた。</p>
主な意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全国学力・学習状況調査の結果から、群馬県の子どもの地域行事の参加率は高いが、半数以上は参加していないと読むこともできる。実態として、地域行事に参加できていない子どもたちもいるのかなと思う。そのような子どもたちや家庭に対して何ができるかを考えていきたい。</li> <li>○ 高校生学習室のような、個人の勉強ができる場所や、勉強以外にも輪が広がるスペースがあることはとても素晴らしいと思う。これを成功例として、いい部分を様々な社会教育の場面に広げていければいいと思う。</li> <li>○ 高校生学習室は、人としてのキャリアを磨く場所、学校教育、社会教育という範囲を超えてお互いにまじりあい、育つ場所であるのだと思う。取組や実施事業についてしっかり分析し、それをいかしていく必要がある。また、市民に情報を発信し、高校生や若者の活動の場があることや、支援していることを周知していければと思う。</li> </ul>

## 成年年齢引き下げ後の成人祝賀行事の名称について

### 青少年課

民法の一部改正に伴い、令和4年4月1日より成年年齢が20歳から18歳に引き下げられる。

本市の成人祝賀行事は引き続き20歳を対象に実施することとしている（令和元年度決定・公表済み）が、現在の名称「成人祝」は、対象者の誤解を生む恐れがあるため、次のとおり変更する。

#### 1 令和4年度以降の成人祝賀行事の名称

はたちのつどい

#### 2 決定の理由

①公開でのアンケート調査を行ったところ、最も多い回答が「はたちのつどい」であった。

※市ウェブサイトのアンケート機能を活用。市内中学校、高校、大学、専門学校へ周知。回答者数449人。

②名称が「はたちのつどい」であれば、祝賀行事対象年齢の誤解が生まれにくいと考えられる。

#### 3 アンケート結果

次ページのとおり

## 令和4年度以降の成人祝賀行事名称選定のためのアンケート結果について

実施期間 令和3年9月1日～令和3年10月31日

回答者数 449名

実施方法 前橋市ホームページ上でのアンケート

(1) あなたの現在の年齢層を教えてください。				
	18歳以下	満19歳～22歳	23歳以上	合計値
	211	101	137	449

(2) 令和4年度以降の成人祝賀行事の名称について、何がいいか教えてください。				
	18歳以下	満19歳～22歳	23歳以上	合計値
はたちのつどい	36	37	46	119
20祭	30	10	7	47
成人祝	59	21	24	104
ハタチを祝う会	13	5	10	28
新成人祝	60	30	27	117
20歳の成人式	19	3	15	37
その他	19	5	12	36
回答者計	236	111	141	488

※複数選択可能のため、回答者数と差が発生している。

(3) 新成人を迎えるにあたって、知りたいこと、興味があることなどがあれば教えてください。

すでに成人の方は、新成人がどんなことを学んだ方がいいかを教えてください。

	18歳以下	満19歳～22歳	23歳以上	合計値
職業（仕事内容など）	81	24	38	143
税金（税金の種類や使われ方など）	97	44	65	206
選挙（選挙の行き方など）	62	14	35	111
ライフプラン（結婚や子育てなど）	60	19	35	114
金融（お金に関する知識など）	80	42	44	166
契約（クレジットカードなど）	74	33	41	148
福祉（医療や社会保障など）	68	33	46	147
その他	9	0	8	17
回答者計	531	209	312	1,052

※複数選択可能のため、回答者数と差が発生している。

## 適応指導教室の名称変更について

青少年課

適応指導教室は、現在 3 か所で不登校児童生徒の情緒の安定、基礎学力の補充、基本的な生活習慣の改善、集団生活への適応等を目的に相談・指導を行っている。この名称を令和 4 年度から、次の通り変更する。

### 1 令和 4 年度以降の適応指導教室の名称

教育支援教室

### 2 変更の理由

- ①児童生徒の才能や能力に応じて、それぞれの可能性を伸ばせるよう個別の教育支援を行っていく必要性が高まっており、その方向性を明確にするため。
- ②「適応指導」という言葉に対し、児童生徒・保護者から抵抗感を持たれやすいため。



## 前橋市「ヤングケアラーの実態に関するアンケート調査」事業の実施結果について

青少年課

### 1 事業の目的

- (1) 児童生徒がヤングケアラーの概念を理解し、児童生徒自らSOSを出し、支援を求められるようなきっかけとする。
- (2) アンケート調査により現状を把握し、「ヤングケアラー」と思われる児童生徒への対応策や支援のあり方について検討を行うための資料とする。

### 2 事業実施の概要

- (1) ヤングケアラーに関する学習と啓発
  - ・各学校でヤングケアラーについての資料を用いた事前学習を行い、理解を深めた。
- (2) アンケート調査の実施
  - ・調査期間 令和3年9月8日(水)～9月20日(月)
  - ・調査対象 市内小学校5・6年生 および 市内中学生 計 13,149名  
     〈内訳〉市内46小学校5・6年生(全員) 5,176名  
     市内20中学校1・2・3年生(全員) 7,973名
  - ・調査方法 一人一台端末(タブレットPC)を用いたWebアンケート形式
  - ・調査内容(厚生労働省調査内容と質問項目は同様)
    - ①基本情報 ②家庭や家族 ③普段の生活 ④ヤングケアラーに関する事項
  - ・回答状況 回収率 全体:71.2%(小学校:82.3% 中学校:62.8%)

### 3 主な設問と調査結果

- (1) 『あなたは、「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。』  
 「あてはまる」と回答した児童生徒:2.6%(小学生:3.2% 中学生:2.1%)
- (2) 『あなたが、お世話をしている人は誰ですか。』  
 「弟・妹」が最も多く、次いで「母」、「父」となっている。
- (3) 『あなたが、行っているお世話の内容は何ですか。』  
 父母への世話内容は「家事」が最も多く、「外出の付き添い」や「見守り」などの介助となっている。兄弟への世話内容は「家事」や「見守り」「兄弟の世話」が多くなっている。
- (4) 『お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを誰に相談していますか。』  
 「家族」が多く、次いで「友達」や「学校の先生」「養護教諭」となっている。
- (5) 『学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要な支援はありますか。』  
 「自由に使える時間がほしい」、「学習のサポート」が中学2・3年生で多い。

### 4 今後の対応

- (1) 資料やリーフレットの作成・配布
  - ・ヤングケアラーの認知や理解向上、啓発のための資料を作成し、配布する。
  - ・相談や支援を扱う関係機関を紹介するリーフレットを作成し、配布する。
- (2) 学校現場における早期発見に向けた取組
  - ・各学校で毎月実施している生活アンケートに、ヤングケアラーに関する項目を追加する。
- (3) 相談体制や支援体制の構築
  - ・養護教諭部会と連携した相談体制を構築する。
  - ・福祉部と連携を図り、適切な支援につなげるための体制づくりを行う。

第2回図書館新本館構想策定プロジェクト会議の開催結果  
及び図書館新本館基本構想（案）について

図書館

1 第2回プロジェクト会議の開催概要

日 時	令和4年1月27日（木） 午前10時から11時まで
場 所	図書館本館 地下講堂
出席者	○ 議 長 教育長 ○ 副議長 教育次長、指導担当次長、都市計画部長 ○ 委 員 以下、13人 前橋工科大学・福田理事長、前橋中心商店街協同組合・植木理事長、前橋商工会議所・稲田専務理事、前橋デザイン Kommission・日下田企画局長、総務課長、教育施設課長、文化財保護課長、学校教育課長、生涯学習課長、青少年課長、総合教育プラザ館長、図書館長、市街地整備課長
議 題	(1) 図書館新本館基本構想（案）について (2) 今後のスケジュールについて
結果概要	図書館新本館基本構想（案）について報告し、意見交換を行った。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の前橋があるのは、糸の歴史があるからだと思う。現状市民が「生糸のまち前橋」ということを実感するものがほとんどないため、図書館に伝えていってもらいたい。</li> <li>・図書館は伝統的に知識を求める人に応えられるものを用意するというパッシブな存在。ワークショップの話や最近の図書館トレンドを見ると、どちらかというパッシブからアクティブに向かっているのが世界的な潮流だと感じている。</li> <li>・市立図書館が中心市街地にできるということに期待をしながら、それを伝えていってお店の方々一人一人が図書館の役割を理解して広めていけるようにしたい。</li> <li>・構想案のミッションは再度検討したほうが良い。知識を提供する場をベースとしながら、それを一人一人の知恵に昇華をしていく部分を手助けできる場所というのが、これからの図書館のあり方だと思う。</li> </ul>

2 新本館基本構想（案）の概要

中心市街地への移転が予定されている図書館新本館について、図書館としての使命、歴史、アンケート結果とその考察等から、新本館のビジョンと4つの基本方針、整備についての考え方をまとめたもの。基本構想（案）については、3月中旬にパブリックコメントを実施予定。